


# 産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(平成28年度:仙台市農業推進協議会)(宮城県)

### 取組の概要

取組の概要 : 水稻の低コスト生産の推進  
 計画作成主体 : 仙台市農業推進協議会  
 対象品目 : 水稻(産地面積 51.8ha)  
 主な取組主体 : 農事組合法人 井土生産組合  
 成果目標 : 生産コスト10%以上の削減  
 助成金の活用状況 : 生産支援事業(パワーハロー等)

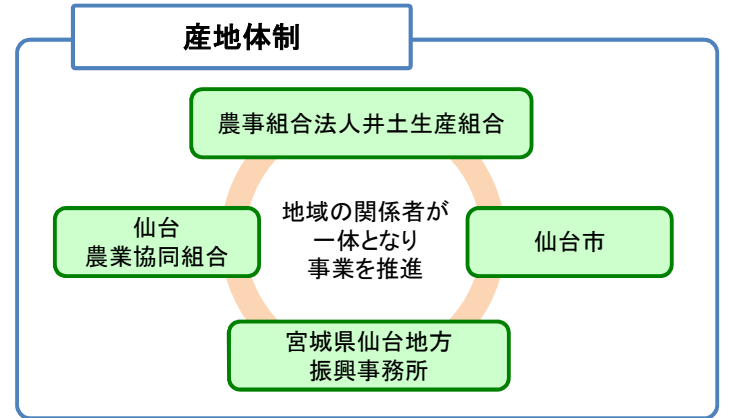


宮城県  
仙台市  
井土地区

### ポイント

**【産地の課題及び取組方向】**  
 水稻の栽培について、先進的な取組である乾田直播栽培への切り替えを行い、育苗作業に係る労働費や燃料費の削減を図る。また、乾田直播面積の拡大に併せて薬剤費等の見直しもを行い、地域一丸となってコスト削減に向けた取組を推進する。

**【産地の体質強化に向けた方策】**  
 地域の水稲・大豆の生産コストを削減するため、中心的経営体が乾燥調製施設、共同育苗施設及び大型農業機械を一体的に整備・導入し、地域内の施設・機械の集約化を推進。



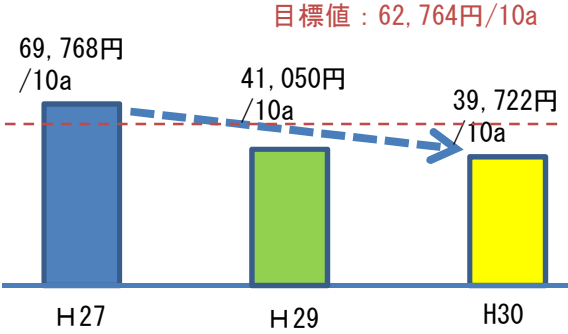
### 地域における独自の取組

〈主な取組〉  
 乾田直播の面積拡大に伴う高性能作業機械の導入によって生産コスト10%以上の削減を実現。

### 取組成果

**【事業実施による直接効果】**  
 ・水稻について、高性能作業機械の導入により乾田直播の面積が拡大し生産コストの削減が実現。

**生産コストが 43.1%減少 (達成率429.0%)**



年度	実績 (10aあたり生産コスト)
H27	69,768円/10a
H29	41,050円/10a
H30	39,722円/10a

目標値 : 62,764円/10a

